

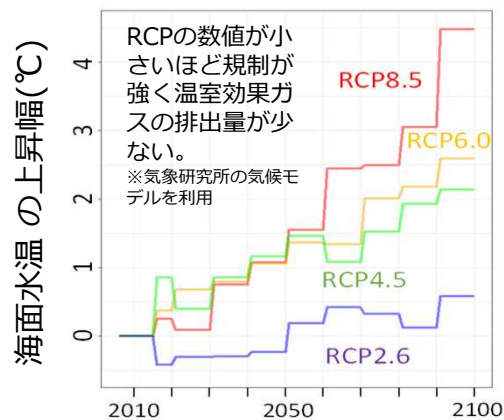
気候変動と漁業の将来予測技術の開発

背景

本道周辺の海水温が上昇し、獲れる魚の種類や量が変化している。
気候変動が水産業に与える影響の把握が急務。

成果

1 CO₂削減取り組み毎の水温上昇

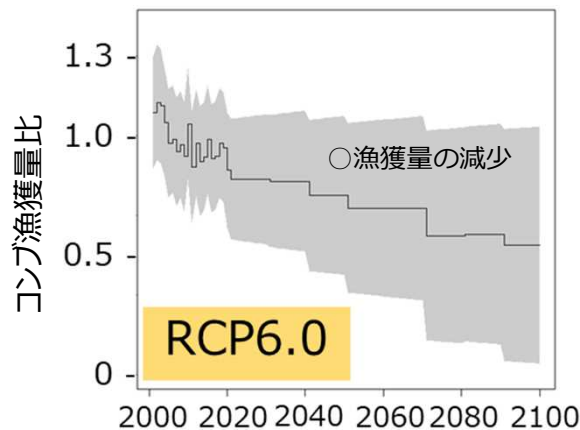


※2006-2015年の海面水温の平均値を0として図示。

期待される効果

様々な水産資源への影響を評価することにより、気候変動を見据えた水産施策や漁業者の事業計画に活用される。

2 道東コンブ漁獲量の将来予測



※2001-2019年の漁獲量の平均値を1.0として図示。

グレーの範囲：95%誤差範囲

3 サケ放流適期の将来予測

放流適期水温8~13°Cの期間

— RCP8.5 — RCP6.0 — RCP4.5 — RCP2.6 — 現状

